

知りたい情報を
検索しよう 

#60秒情報モラル

キーワード

#情報検索
#情報の信憑性
#情報の伝達

この動画の活用にあたって

自分が知りたい情報を得るためには、テレビや書籍、インターネットなど様々な方法があり、それぞれ長所と短所があります。インターネット上にある情報は即時性に優れ、検索機能を活用することで知りたい情報や関連する情報を見付けることができます。一方で、誰でも発信できることから情報の信憑性が低かったり、更新されず古い情報だったりすることがあります。使う側が更新日時を確認をしたり、情報提供者が信頼できるのか判断したりすることが大切です。また、可能であれば情報源となる資料や文献を確認しましょう。

動画はこちら



動画の流れ	気付かせたいことのみ			補足・解説 ◆ StepUp アクティビティ
	★(小1~3)	★★(小4~6)	★★★(中1~高3)	
 <p>先生が授業の課題を提示している。</p>				◆ どんな検索キーワードを使えば見付けられるかやってみよう。(例:自分の通う学校, 近所のスーパー)
 <p>検索ワードで最上位にヒットするWebページを選んでいる。</p>	□ 検索した人がよく見ているWebページだから信頼できる。	□ 情報が更新されていないのは放置されているWebページだからかもしれない。	□ AND検索を活用している。 □ 一番上は広告かもしれない。	□ 複数の検索語を入力することで目的の情報を探しやすくなります。検索方法にはAND検索の他にOR検索やNOT検索などがあります。 □ 検索サイトで上位にヒットするページの中には、スポンサーサイトというCMを目的としたものもあります。
 <p>誰でも編集ができる事典サイトを使って調べている。</p>		□ 誰でも編集できる事典サイトだから情報が豊富に載っている。	□ 誰でも編集できるということは情報の信憑性が確保されていない可能性もある。	◆ 情報収集の手段として、それぞれのメディアの特性を考えよう。(例:新聞, インターネット, 本, 動画のメリットやデメリットなど)
 <p>Aさんは、動画で見たことを話している。</p>	□ 動画は見るだけでまとまった情報が得られるからわかりやすい。	□ 自分が欲しい情報を提供しているか動画をよく見ないと分からない。		
 <p>Bさんはパンフレットで見付けたことを紹介している。</p>				□ 公的な機関が発行しているものであれば、信頼できる可能性が高いといえます。
 <p>3人が調べたことは、共通している資料を基にしているようだが、調べた結果が異なることで困っている。</p>	□ 同じことを調べても見つかる答えが違うことがある。	□ 情報の発信者によって内容が変化することがあるので、複数の情報を調べて判断する。	□ 情報源が同じものでも、一次情報を確認する必要がある。	□ 一次情報が明示されていれば、その資料を調べることができます。 ◆ 信頼できる情報発信はどんなものか考えよう。(例:新聞の記事, SNSの投稿, 本, テレビ番組, 人の話等で、信頼できる順に並べる)